

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：岡田 林太郎 幹事：釣見 栄一

情報委員長：清水 忠

1978・5月18日

第115号



税金あれこれ

— 金は天下の回りもの —

金沢国税局長 佐藤 東男氏

今の世は権利流行り。嫌煙権を認めよとするのもその一つである。が世の中にはタバコ好きな御人も多く、好煙権もあつてもよいとする声が出てても何ら不思議でない。どちらが社会的にアピールするかといえば、当然前者であつて好煙権を認めるような世間ではない。

こと税金に関していえば、嫌税権を主張しても好税権という立場を確立したいとする人はまずいないだろう。しかし税金というのは、嫌好に関わらず、社会生活の中で直接、間接を問わず私達に関係してくることである。兎に角必要なものであるとの理解をしてもらう事が第一であろう。

たとえば国税納付額と還元額の対比について見てみよう。昭和51年度の石川県の納付額は860億円に対し地方交付、社会福祉、教育費などへの還元は1,700億円であり、実に2倍近い金が地域社会に還元されているのである。

ことは国民経済と財政の関係と共に、マクロ的な判断に立って税金の流れを知っていただく事が大切である。

この様な税のしくみの中で、我が国財政の公債依存度の問題がある。主要国に比較して個人所得に対する所得税負担率が底く課税最低限が高い日本は53年度予想37%の公債依存度という借金財政の中で、税制改正を含めて、今後どうあるべきかを検討すべき時期に来ているのではなかろうか。

その選択は国民1人1人である。

— 金沢北RC例会講話より — (文責 米沢修一)

私の職業奉仕

増江 泰

私にはサラリーマンでありながら、職業とは何か、働くとは如何なる事かをはっきりと把握している者は少いように見受けられます。それについての自分の見解を持ち、それを行じていく事は、勤めを無事に終えるという以上の人生的意義があるのである。数々の社員の者から職業について信念に満ちた見解を聞き、彼らが真剣に働いている姿を見る時ほど、うれしい時はない。そんな人が一人でも多くいる職場は理想の職場であると言って良いと思うのであります。

人間の生活の三要素ともいべき「衣」、「食」、「住」のうちとりわけ「住」は戦後高度経済成長の波にのり驚くべき成長発展をとげてきているのです。剩さへ福祉産業の一端をも担い政府の推進



事業でもあるのです。その住宅関連産業である加賀木材株式会社は、その販売致している木材も供給の面で余儀なく内地材から外材（アメリカ、カナダ材、ソ連材、南洋材、南米、アフリカ材等）へと推移し、現在では外材の占める比重が少くない様になりました。

当社は先に述べた木材の他、新建材、住宅機器、アルミサッシ等一流メーカー製品の販売代理店として、ユーザーへ供給サービスを致しており、又ユーザーの要望で、木造住宅のローン等のお世話も致しております。

現在、特に多種多様化された住宅産業では、ユーザーのニーズに当って、よりよい商品をより安く、確実に迅速にお届けすること。且つユーザーに数々の利益を生むべく販売体制の確立をモットーとして、鋭意努力致したいと思うのであるが、終局はユーザーの利益に貢献奉仕すること。職場では安全管理、社員の健康管理はもちろんのこと、ロータリアンとして「四つのテスト」を研鑽し、修練し、一方同業者間には、誠意と善意をもって奉仕すること。これが翻ては社会に還元され真の職業奉仕となり、世の為・人の為と考えるのであります。

新旧合同役員会

あますところ2ヶ月ばかりとなった5月6日、石亭に於いて、新旧役員会が開催された。

次年度は261地区として新しい組織となり、当クラブとしても創立5周年を迎える。又、ヨーバーリントンRCとの姉妹提携について、現在推進中でもあり、ポットな意見が交わされた。なお5周年記念式典は10月5日の予定であるとの報告がなされた。



G.S.E を迎えて

国際奉仕委員長 俵 外代吉

阿部米一氏をチームリーダーとするG.S.Eの一行が、4月25日に石川県入りをし、当日小松市内を見学の後、夜松任犀与亭にて金沢5クラブに引継ぎされ、一行は金沢入りをされました。

では、初めにG.S.Eについて理解して頂くために説明致したいと思います。G.S.EとはGroup Study Exchange の略で、ロータリー財団より補助金を受けて実施されている研究グループ交換チームの事であり、次の三つの目的のために計画されたプログラムであります。

- (1) 優秀な青年実業人並びに専門職業人に、関係国内において計画準備された研究討論プログラムに参加することによって、他の国とその国民並びに諸施設を研究する機会を与えるため。
- (2) 善意の人々が、友好的雰囲気のもとに相会し、語り合い、生活を共にして相互の問題や抱負を理解するようになり、かくして個人的接触を永続する友情へと成熟させることにより、国際理解を増進するため。
- (3) 研究グループのチームのために教育的プログラムを作成し、又彼等を歓待することによって、ロータリアンを特殊な、実際的かつ有意義な国際奉仕計画に参加させるため。

これは異なる国々の組み合わせ地区間で研究グループを交換するプログラムである。



グループは参加時の年齢が25才から31才までの男子で、一般教育を受けているもので2ヶ年以上の職業経験がある者と決められており、期間は約5週間程で1地区から5名のグループで構成されております。

さて、今回金沢を訪れました一行は、R.I第533地区の研究グループ交換チームで、4月10日に羽田に到着して以来、岐阜・四日市・津・伊勢・京都の各地の名所、有名工場等を見学し4月25日に石川県入りを致しました。

金沢5クラブは1名宛受け入れることになり、当クラブはランドルフ・G・トーマスキップさんを受け入れ岡田会長宅にホーム・シティすることになりました。

一行は4月26日、県庁・市役所・各新聞社を表敬訪問し、午後は市内を見学後、急遽金沢ヘルスセンターへ行き心のこもった接待を受け、27日は兼六園・能楽を觀賞し、午後6時より金沢ニュー・グランド・インにて石黒ガバナー夫人を初め各クラブ会長・幹事・クラブ財団委員長外に交換学生も参加し盛大なる歓迎パーティが開かれました。



当クラブより岡田会長及び奥様、釣見幹事そして私の4人が出席致しました。宴たけなわにしてG.S.Eと交換学生の歌の交換も行われ、特に釣見幹事の出演もあり、見事な拍手を受けられました。最後にロータリー・ソングの手に手をつないでを全員にて合唱し、散会致しました。

28日には友禅団地等を見学し、30日には朝10時にグランドホテル前に集合し、高岡クラブにバトタッチして、一行とお別れ致しました。金沢の滞在は4日間ばかりでしたが、この間少しでも金沢の文化・経済・家庭等を理解出来たか解りかねますが、お互いの心と心のつながりが得られたことと思います。G.S.E一行がどのように日本を理解することが出来たか帰国後のレポートの一端でも知ることが出来れば幸いです。特に今回G.S.Eのお世話していただいた岡田会長・釣見幹事・松本会員に御礼申し上げたいと思います。

第 229 回例会

- ◆ 5月4日(木)晴 12:30~13:30 ホワイトハウス
- 講話 "G.S.E.報告"
岡田林太郎君、釣見栄一君
 - 出席 出席38名、欠席8名、出席率82.61%
ビジター24名
 - 来訪者 千葉中央RC 手塚英之進君(医療機器)
富山中RC 須賀正君(眼鏡業)
金沢RC 江川昇君、石崎皓三君
平沢寿君、分校太平君、織田義夫君
金沢東RC 厚見益樹君、山田勝二君
竹松俊孝君、岡寺昭君
柿下正雄君、加藤義一郎君
中橋秀夫君、林信夫君
金沢西RC 北川正信君、八町昭八郎君
金沢南RC 成瀬栄蔵君、西原雅君
町寿君、古作文衛君、米谷半平君
岩崎善四郎君、堀江克巳君
 - 幹事報告 新旧合同役員会開催
5月6日(土) 於石亭
 - 御誕生日祝 柴田三郎君、笠間恒次君、佃一成君
米沢繁男君
 - 御結婚記念日祝 依外代吉君、本江他美夫君
米沢修一君、吉山宥海君、庄田厚郎君
松本智君、由井賢一君、塩村喜代次君
 - ニコニコBOX 一週間ハワイで泳いで来ました
若野三郎君
 - 今日のニュース 日本人、地球の頂点に立つ!
北緯90度への長く白い道をひたすら前
進していた日本大学北極点遠征隊らア
タック隊5人は苦闘の末、北極点に到
達、酷寒の氷上に日の丸を掲げた。

第 230 回例会

- ◆ 5月11日(木)晴 12:30~13:30 ホワイトハウス
- 講話 "税金あれこれ"
金沢国税局々長
佐藤東男氏
 - 出席 出席35名、欠席11名
出席率76.09%
ビジター19名
 - 来訪者 金沢RC 坪野俊雄君
南定雄君、江川昇君
木谷孝太郎君、横井孝君
山田与三君、内田一君
金沢東RC 新名健吉君、平野知康君
高桑治君、浅田裕久君
小菅正夫君、野村清君
金沢西RC 本多安司君、舟見良雄君
坂本宗一郎君
金沢南RC 谷口博夫君
岩崎善四郎君、柿木英夫君
 - 幹事報告 次年度RI会長テーマが決定しました
"Reach out., 手を差し伸べよう"
 - ニコニコBOX RCの本家本元シカゴRCでメーキ
ャップして来ました 浅野弘明君
○亡母忌明志 米沢修一君
 - 今日のニュース 過激派「赤い旅団」に誘かいさ
れていたアルド・モロ前イタリア首相
は事件発生以来54日目にローマ市内の
車中で遺体となって発見された。



4 月 例 会 出 席 状 況

出席率 (98.91%)

| 会員名 | 月日 | | | | | | | 会員名 | 月日 | | | | | | |
|--------|-----|------|------|------|---|--|--------|-----|-----|------|------|------|--|---|--|
| | 4/6 | 4/13 | 4/20 | 4/27 | | | | | 4/6 | 4/13 | 4/20 | 4/27 | | | |
| 浅田 豊久 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 岡田 林太郎 | ○ | ○ | ○ | M | | | ◎ | |
| 浅野 弘明 | ○ | M | ○ | M | ◎ | | 大場 勝雄 | ○ | ○ | M | ○ | | | ◎ | |
| 出島 敬識 | ○ | ○ | ○ | M | ◎ | | 大村 精二 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 東元 潔 | ○ | ○ | 欠 | ○ | × | | 桜井 健太郎 | ○ | M | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 平尾 信明 | ○ | ○ | M | ○ | ◎ | | 沢田 哲夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 本江 他美夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 柴田 三郎 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 二木 正樹 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 清水 忠 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 飯野 健志 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 塩村 喜代次 | ○ | ○ | ○ | M | | | ◎ | |
| 上 間 恒次 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 庄田 厚郎 | M | M | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 笠 藤 悦 | M | ○ | ○ | M | ◎ | | 高田 全 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 加木 島光 | M | ○ | ○ | 欠 | ◎ | | 依外代吉 | M | ○ | M | M | | | ◎ | |
| 小林 隆二 | ○ | M | M | ○ | ◎ | | 土原 一 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 小野 民男 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 佃 成一 | M | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 小杉 守男 | ○ | ○ | M | M | ◎ | | 釣見 栄一 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 小杉 善 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 上田 忠信 | M | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 小增 江二 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 若野 三朗 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 益谷 健 | M | M | ○ | ○ | ◎ | | 山上 啓介 | ○ | ○ | ○ | M | | | ◎ | |
| 松本 智 | M | M | M | ○ | ◎ | | 山岸 与作 | M | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 水野 博 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 米沢 繁男 | M | ○ | ○ | M | | | ◎ | |
| 宗田 市太郎 | ○ | M | ○ | M | ◎ | | 米沢 修一 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 中村 省三 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | 吉田 昭炳 | ○ | M | ○ | ○ | | | ◎ | |
| 岡部 三郎 | ○ | ○ | M | M | ◎ | | 由井 賢一 | ○ | M | ○ | M | | | ◎ | |
| | | | | | ◎ | | 吉山 有海 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | |